

日 時：平成28年2月24日（水） 15：30～17：00

場 所：大阪府立貝塚南高等学校 校長室

出席委員・事務局（敬称略、順不同）

吉川 測雄 氏
岸田 米夫 氏
北浦 美由紀 氏
新田 佐智子 氏

糴谷 要・陶山 時夫・白石 博則・川寄美佐子・亀井 秀幸 寺本 達夫・水落 宏・谷井 重木・井出 康子・鈴木 一也 川上 良介

① 学校長あいさつ

来年度教育経営計画作成についての助言を依頼。
今年度については特に以下の5項目について力を注いだ。

1. 若い教員と指導教諭による授業改善
2. オープンスクールや文化祭中学生招待。
3. 生徒指導部を中心に安全で安心な学校づくり。欠席や遅刻の減少。
4. 大学見学会。来年度は保護者の参加も。
5. ホームページや学校説明会による地域への広報活動。

② 本校の現状報告

① 教頭より

- 学校教育自己診断の結果について説明。
 - ・ 生徒 10ポイント以上あがったものが数件あったのに対し減少はなかった。
 - ・ 保護者 ほとんど変化なし。

家庭でのコミュニケーションが課題。親への情報発信をもっとしたほうがよいのでは。

入学時にはHPを見るが、そのあとは見る事がなくなる。

A HPのアクセス数が表示されなくなっている。担当者が原因を調べているが修復されていない。保護者からは650から700のアンケート回答がある。

保護者へメールによる発信をしてはどうか。

A HPのほうが簡単で早い。

保護者との関係を密にしていって欲しい。

② 行事活動部からの報告

- 文化祭の充実に力をいれ文化祭へ中学生を招待した。クラブ加入率をあげるため、来年度は入学後に体験日を設ける。人権の扱う分野を広げる。図書館の利用率を上げる。

図書館に地域のボランティアを活用して生徒が利用しやすい図書館づくりを。

③ 保健総務部からの報告

- アンケートなどにより生徒の意見の把握を行い、学校で生徒が気持ちよく過ごせるように。

レモン石鹸→ポンプ式ソープ

40年経っているので、老朽化が心配。

A 音などでトイレに工夫を施し、水の節約を図りたい。

和式や洋式トイレをどうしていくか。壁が剥がれるようなことはないか。

: 協議委員の方々からのご意見 A : 本校よりの回答

④ 生徒指導部からの報告

○ 今年度は昨年度よりも対応事案の数、そして内容とも軽微なものとなった。授業遅刻の指導を導入した結果、遅刻が減り、落ち着いて授業が受けることができるようになったのではないかと。常習的に週2回遅刻をしている生徒についてどうしていくか。

【協】教育相談の状況は。

A 7人が受けている。

【協】新田：保護者とは。

A 同じ7人が保護者と共に受けている。

【協】不登校への指導は、中学校が注目していることであり、大きな評価につながる。

④ 進路指導部からの報告

○ AO入試の自己PRや自己推薦に時間をかけてしまい、受験勉強を始めるのがAO入試のあとになり、勉強するのが遅れてしまう。進路指導に関して、進路指導部の教員に頼りすぎている面がある。進路指導部は情報提供や提案を行うにとどめ、各学年でHRなどを活用し、早い時期から生徒そして進路指導部以外の教員も進路を考えるようにしていく。

【協】特定の教員がいなくなったら、その教員が担当していた分野の進路指導が弱くなることなく、継続性を持てるようにして欲しい。

⑤ 教務部からの報告

入院中の生徒の卒業。2年生で今年の1月から12月まで留学する生徒が1人。若手中心にアクティブラーニングなどを活用した生徒参加型の授業に取り組んでいる。

⑥ 1年生からの報告

これまで力を入れてきた個別対応を継続していく。どの学年でも共通になる部分は、分掌で把握し方針を打ち出してもらい、学年間でもしっかりとコミュニケーションをとって、副担任の先生がもっと活躍できるようにしたい。

⑦ 2年生からの報告

今年は昨年と比べて落ち着いたが、おとなしくまじめな生徒の声を聞く機会があまりなかった。若手の教員の活力をこれからも生かしていきたい。

⑧ 3年生からの報告

文化祭で活発に活動した。問題行動を起こした生徒の対応に比べ、それ以外の生徒へかける時間が少なかった。

③ 協議事項

平成28年度学校経営計画の策定に向けて

【協】今年は校長・教頭・教務部長が交代するので、来年度の対応が課題。

A 校長：首席を中心に対応する。

A 昨年度、本校の体験授業を受けた中学生のうち何名が本校に入学したかという前回の宿題があったが、体験授業を受けた213名のうち53名が本校に入学した。

A 本年度の本校入学希望者は定員に達していない。

【協】入学したい学校にしていくことを考えていかないと。

A 自主性を持っていない生徒に対して、どのように教員が道をつけていくか。

【協】卒業生に責任も持って、貝塚南高校の魅力作りに取り組んで欲しい。

【協】：協議委員の方々からのご意見 A：本校よりの回答